

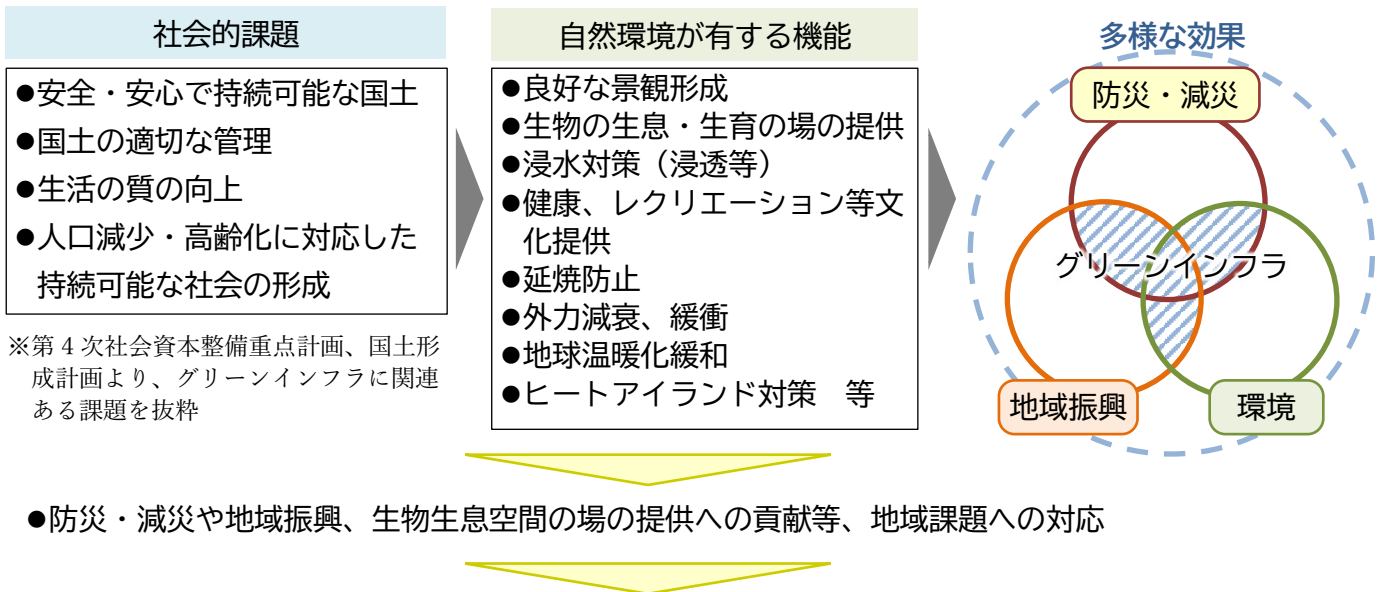
参考資料4 第1回協議会での意見についての補足資料

1. グリーンインフラ

(1) グリーンインフラとは

グリーンインフラとは、「社会資本整備や土地利用等のハード・ソフト両面において、自然環境が有する多様な機能を活用し、持続可能で魅力ある国土・都市・地域づくりを進める取組」である。

■グリーンインフラのイメージ



●持続可能な社会、自然共生社会、国土の適切な管理、質の高いインフラ投資への貢献

出典：国土交通省「グリーンインフラストラクチャー」（平成29年3月）より作成

(2) 取組事例

Marunouchi Street Park2020【千代田区】



●概要

- ・丸の内仲通りの区道部3ブロックに天然芝を新設し、歩行者に24時間開放

◎取組効果

- ・芝生化部分の地表面温度は、舗装部分に比べて大幅に低下していた
- ・芝生化した車道の方が、歩道に比べて多くの人滞留していた

バスあいのり3丁目 TERRACE【新宿区】



●概要

- ・路地裏の未利用空間に、雨水浸透基盤等のグリーンインフラを活用した持続可能な賑わい空間を実現

◎取組効果

- ・雨水浸透型の基盤が雨天時に浸透効果を発揮し、エリアの豪雨対策に貢献
- ・緑化により温熱環境の改善が図られた

出典：グリーンインフラ官民連携プラットフォーム企画・広報部会「グリーンインフラ事例集」（令和3年3月版）

2. スマートシティ

(1) スマートシティとは (参考：スマートシティ官民連携プラットフォーム - 国土交通省)

スマートシティは、先進技術の活用により、都市や地域の機能やサービスを効率化・高度化し、各種の課題の解決を図るとともに、快適性や利便性を含めた新たな価値を創出する取組の総称である。

2. 国内での取組事例

【千葉県柏市】 ～柏の葉スマートシティ～

●概要：環境共生、健康長寿、新産業創造の3つのテーマを掲げ、最先端技術を用いたハード・ソフト両面からの施策を推進している。

●主な取組①：エリアエネルギー管理システム「AEMS」により、街全体でエネルギー利用の最適化を推進している。電力会社、民間マンションや商業施設、大学等のエネルギー情報を管理する拠点として、柏の葉スマートセンターが設置されている。

●主な取組②：2019年から柏の葉地区で自動運転バスの長期営業運行実証実験が行われている。東京大学の研究機関も実証実験に参画しており、自動運転を活用したモビリティによる移動サービスの社会実装に向けた研究活動が進んでいる。



出典：柏の葉スマートシティ HP

■AEMSのコアとなっている柏の葉スマートセンター



出典：東大 生産技術研究所 次世代モビリティ研究センターHP

■自動運転シャトルバス

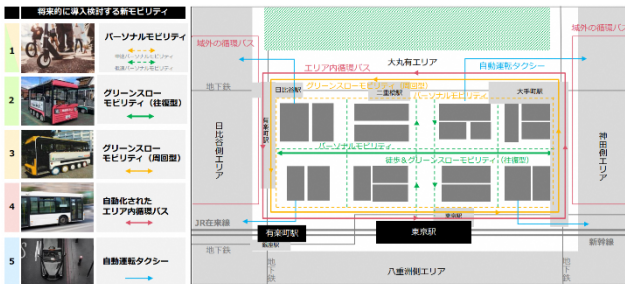
【東京都千代田区】 ～大丸有スマートシティ～

出典：大手町・丸の内・有楽町地区スマートシティビジョン・実行計画（2020年3月時点）

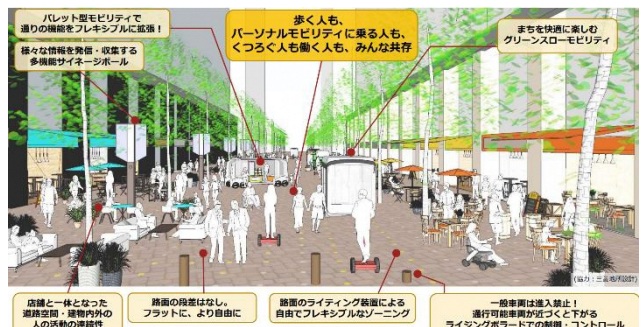
●概要：官民連携のデータ活用技術等を実証実験の場で活用し、「創造性」「快適性」「効率性」の都市のアップデートの方向性の下、都市のリ・デザインの方向性を検討している。

●主な取組①：大丸有版 MaaS において新たなモビリティの導入を検討している。大丸有地区のまちづくりで形成してきた通りごとの特性を捉えて、モビリティネットワークを構成する予定である。

●主な取組②：都市空間のリ・デザイン像を様々なパターンで検討している。具体的には、日常時、休日、MICE 時、災害時等である。



■大丸有エリアのモビリティネットワーク（概念図）



■ウォークラブルな空間のリ・デザイン像（日常時）